

第 1 章: 製品情報**製品名称**

製品形態: 物質

製品名: 塩素酸ナトリウム

類語: ナトリウムの塩素酸塩、塩素酸、ナトリウム塩、塩素酸ナトリウムの結晶

製品の使用目的

パルプの漂白に用いる二酸化塩素の製造、除草剤

責任を有する当事者の名称、住所、電話番号**製造業者**

CHEMTRADE LOGISTICS INC.

155 Gordon Baker Road

Suite 300

Toronto, Ontario M2H 3N5

SDS に関する情報: (416) 496-5856

www.chemtradelogistics.com**緊急時電話番号**緊急時番号 : カナダ: CANUTEC +1-613-996-6666 / 米国: CHEMTREC +1-800-424-9300
国際: +1-703-741-5970

Chemtrade 緊急時間合せ先: (866) 416-4404

化学災害、こぼれ、漏洩、火災、曝露、事故については、昼夜問わず、CHEMTREC に連絡すること。

第 2 章: 危険有害性**物質または混合物の分類****GHS 分類**

Ox.Sol.1 H271

Acute Tox.4 (Oral) H302

Aquatic Chronic 2 H411

危険有害性クラスと危険有害性情報の全文は第 16 章を参照のこと。

ラベル要素**GHS ラベリング****危険有害性の絵表示****シグナルワード****危険有害性情報****注意書き**

- : 危険
- : H271 - 火災または爆発のおそれ。強酸化性物質。
H302 - 飲み込むと有害。
H411 - 長期継続的影響により水生生物に毒性。
- : P210 - 熱、高温のもの、火花、裸火、その他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P220 - 衣類、その他の可燃物から遠ざけること。
P221 - 可燃物やその他の混触危険物質と混ざらないよう万全の注意を払うこと。
P264 - 取扱い後は、手、腕、その他の曝露した部分をよく洗うこと。
P270 - この製品を使用する際は、飲食または喫煙をしないこと。
P273 - 環境への放出を避けること。
P280 - 防護手袋、保護衣類、防護眼鏡を着用すること。
P301+P312+P330 - 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、毒物センター (POISON

塩素酸ナトリウム

安全データシート

米国連邦官報/77巻58号/2012年3月26日(月)/カナダ危険有害性製品規則に基づく規則および規定、2015年2月11日

CENTER) または医師に連絡すること。口をすすぐこと。
P371+P380+P375 - 大火災で大量にある場合：区域より退避させること。爆発の危険性が高いので、離れた場所から消火作業をすること。
P306+P360 - 衣類にかかった場合：衣類を脱ぐ前に、汚染した衣類および皮膚を直ちに大量の水で洗うこと。
P391 - 漏出物を回収すること。
P420 混触危険物質から隔離して保管すること。
P501 - 内容物・容器を、国際的な、および国、州、準州、地域、地区の規則に従って廃棄すること。

その他の危険有害性

曝露により、目、皮膚、呼吸系の既存症が悪化する可能性あり。過剰な曝露はメトヘモグロビン血症の原因となる可能性あり。メトヘモグロビン血症の初期症状はチアノーゼで、唇や舌、粘膜が青紫になり、皮膚が暗い灰色になるのが特徴。その他にも、頭痛、虚弱、呼吸困難、眩暈、昏睡、呼吸不全、酸素欠乏症による死などが特徴。

高温 (> 265°C) において熱的に不安定。

未知の急性毒性

データ無し

第3章：組成・成分情報

物質

名称	製品識別記号	%*	GHS 成分分類
塩素酸ナトリウム	(CAS-No.) 7775-09-9	> 99.6	Ox.Sol.1, H271 Acute Tox.4 (Oral), H302 Aquatic Chronic 2, H411

Hコード（危険有害性情報）の完全文は第16章を参照のこと。

* パーセント値は、液体成分と固体成分については重量/重量のパーセント値 (w/w%) で表示。気体成分は、容積/容積のパーセント値 (v/v%) で表示。

第4章：応急措置

応急措置の記述

一般： 意識不明の人には、いかなるものも決して口から摂取させないこと。気分が悪い場合は、医師の診断を仰ぐこと（可能な場合はラベルを見せる）。

吸引： 症状がある時：屋外に行き、問題が疑われる区域の換気を行う。呼吸困難が続くようなら、医師の診断を仰ぐ。

皮膚への接触： 汚れた衣服を脱ぐ。皮膚に触れた部分を最低15分間水に浸す。医師の助言・診断を仰ぐ。衣服は片付けたり再使用したりする前に洗う。靴は再使用する前によく洗浄する。

目への接触： 最低15分間水で慎重にすすぐ。コンタクトレンズを着用していて簡単に外せる場合は外す。引き続き目を水ですすぐ。医師の診断を仰ぐ。

口からの摂取： 口をすすぐ。無理矢理吐かせないこと。医師の診断を仰ぐ。

最も重要な症状と影響（急性および後発）

一般： 飲み込むと有害。この物質に対する過剰な曝露は、メトヘモグロビン血症を引き起こすおそれがある。メトヘモグロビン血症は、血液の酸素を運ぶ能力を低下させ、眩暈、眠気、頭痛、息切れ、青紫色の皮膚や唇、高い心拍数、意識不明、ひいては死亡などの症状を引き起こす。

吸引： 長時間の曝露は炎症の原因となるおそれがある。

皮膚への接触： 長時間の接触は皮膚炎症の原因となるおそれがある。

塩素酸ナトリウム

安全データシート

米国連邦官報/77巻58号/2012年3月26日(月)/カナダ危険有害製品規則に基づく規則および規定、2015年2月11日

目への接触： 目にわずかな炎症をもたらすおそれがある。

摂取： 口からの摂取は、悪影響をもたらすおそれがある。過剰曝露は、溶血毒性および腎毒性の原因となるおそれがある。

慢性症状： 通常の使用条件においては慢性症状の発症は考えられない。この物質に対する過剰な曝露は、メトヘモグロビン血症の原因となるおそれがある。

迅速な医師の診断と特別な治療が必要と考えられる症状

曝露した場合、あるいは懸念がある場合は、医師の助言と診断を仰ぐ。医師の診断が必要な場合は、製品の容器またはラベルを手元に用意すること。

第5章：消火措置

消火剤

適切な消火剤： 水。水のスプレーまたは水噴霧を使用する。

不適切な消火剤： 粉末消火剤は使用しないこと。泡消火剤。二酸化炭素 (CO₂)。防火用毛布は使用しないこと。

物質または混合物から発生する特別な危険

火災の危険： 火災または爆発のおそれ。強酸化物質。

爆発の危険： 熱により圧力が上がり、密閉した容器に穴が開いたり、火が燃え広がったり、やけどや怪我の危険が増大したりするおそれがある。

反応性： 酸化物質：可燃物の燃焼速度を増加させる。

消防士に対する注意事項

火災に対する予防策： 化学物質がかかわる火災の消火活動は慎重に行う。

消火に関する指示： 内容物の露出した容器を冷却するには、水のスプレーまたは水噴霧を使用する。大火災の場合や物質が大量にある場合：区域より退避させる。爆発の危険性があるため、離れた場所から消火作業を行うこと。

消火活動中の防護： 火災の現場には、必ず呼吸防護具を含む適切な防護具を持って入ること。

危険な燃焼生成物： 刺激性のある、または有毒な蒸気。ハロゲン化合物、金属酸化物。

その他の情報： 消火活動からの流出物が排水設備や河川に流入しないようにすること。

他の章の参照

燃焼性については第9章を参照のこと。

第6章：偶発的漏出時の措置

個人の予防策、防護具、緊急措置

一般的措置： 漏出した周囲の区域から退避させる。防護されていない不要な人員が漏出区域に入らないようにする。こぼれた製品に触ったり、その上を歩いたりしないこと。すべての発火源を遮断する。現場に火、煙、炎、高温のもの、火花、その他の発火源がないようにすること。目、皮膚、衣類を長時間さらさないようにする。チリを吸い込まないようにする。可燃物を近づけないこと。適切な換気をする。換気が十分でない場合は、適切な呼吸装置を着用する。適切な個人用防護具を着用する。

非緊急の人員

防護具： 適切な個人用防護具 (PPE) を使用する。

緊急措置： 不要な人員は退避させる。

緊急人員

防護具： 清掃担当員に適切な防護具を着用させる。

緊急措置： 第一応答者は現場に到着次第、危険物の存在を確認し、自身と一般人を防護し、現場を囲い、状況が許せば直ちに訓練された人員の援助を求める。区域の換気をする。

環境面での注意点

下水や公共の河川に入るのを防止する。環境に流出しないようにする。こぼれた製品を回収する。

封じ込めおよび清掃の方法と用具

封じ込め： こぼれた固体状の製品は、適切な障壁を設けて封じ込め、下水や河川への流入を防止する。火花の出ない道具のみを使用する。

清掃の方法： こぼれた製品を直ちに回収し、安全に廃棄する。製品はバキュームで吸い取ったり、ショベルやほうきで回収する。こぼれた製品は、適切な容器に移して廃棄する。製品がこぼれたら、所轄官庁に知らせる。おがくずやセルロース系素材のような可燃物に吸い取らせないこと。

塩素酸ナトリウム

安全データシート

米国連邦官報/77巻58号/2012年3月26日(月)/カナダ危険有害製品規則に基づく規則および規定、2015年2月11日

他の章の参照

曝露管理と個人防護については第8章、廃棄上の注意については第13章を参照のこと。

第7章： 取扱いと保管

安全な取扱い上の注意点

飲食や喫煙前、および就業終了時には、手やその他の曝露のあった部分を刺激の少ない石鹼と水で洗う。目、皮膚、衣類を長時間さらさないようにする。チリを吸い込まないようにする。熱、火花、裸火、高温のもの、可燃物、反応を起こす可能性のある物質から遠ざけること。禁煙。

処理に伴う追加的危険： 火災または爆発のおそれ。強酸化物質。

衛生面での措置： 業界の適切な衛生・安全措置の基準に従って取り扱う。

安全な保管条件(不適切な保管条件に関する事項を含む)

技術的措置： 該当する規則に準拠する。静電気が発生しないよう適切な接地手順に従う。

保管条件： 使用しない時は容器の蓋を閉めておく。乾燥した涼しい場所に保管する。極度な高温または低温、混触危険物質、飲食物から離れた場所に保管する。耐火性の場所に保管する。開けた容器は慎重に再び封をし、漏出防止のために立てた状態で保管する。ラベル表示のない容器には保存しないこと。環境汚染を避けるため、適切な封じ込め手段を用いる。

混触危険物質： 強酸。還元性物質。可燃物。アンモニア。有機物。活性金属 (Al、K、Zn 等)

具体的な使用目的

主に、パルプ漂白用の二酸化塩素の現場生産に使用される。また、染料、爆薬、マッチの製造、過塩素酸塩の製造、鉱石処理、革のなめしと仕上げ、人工呼吸装置用の酸素生産に使用したり、酸化性物質、分析試薬、除草剤としても使用したりする。

第8章： 曝露管理、個人の防護

管理パラメータ

第3章に記載されているがここには記載されていない物質については、製造業者、供給会社、輸入業者、または適切な諮問機関からの確立された曝露限界の提示はない。諮問機関には、ACGIH (TLV)、AIHA (WEEL)、NIOSH (REL)、OSHA (PEL)、カナダ州政府、メキシコ政府が含まれる。

曝露管理

適切な工業的管理： 曝露の可能性のある場所のすぐ近くに緊急洗眼用噴水栓と安全シャワーを設置しておく。特に密閉された区域では適切な換気を確保する。国や地方の規則を必ず遵守する。可燃性の気体や蒸気が放出されているおそれがある時は、ガス検知器を使用する。静電気が発生しないよう適切な接地手順に従う。

個人用防護具： 手袋。防護衣。防護用ゴーグルまたは安全メガネ。



防護衣の素材： 化学的耐性のある素材や繊維。耐火性、耐燃性、難燃性の衣類を着用する。

手の防護： 防護用手袋を着用する。

目の防護： 耐薬品性の安全ゴーグルまたは安全メガネを着用する。

皮膚と身体の防護： 適切な防護衣を着用する。

呼吸器の防護： 曝露の限度を超過したり、刺激を感じたりする場合は、認可された呼吸器防具を着用する。換気が不適切な場合、酸素不足の場合、または曝露の程度が未知の場合は、認可された呼吸器防具を着用する。

その他の情報： この製品を使用する時は、飲食または喫煙をしないこと。

第9章： 物理的および化学的特性

基本的な物理的および化学的特性

物理的状态	: 固体
外観	: 無色または白色の結晶
におい	: 無臭
臭気しきい値	: データなし
pH	: 7~9 (水溶液は中性)。ph が下がるにつれ酸化活性が増大する。

塩素酸ナトリウム

安全データシート

米国連邦官報/77巻58号/2012年3月26日(月)/カナダ危険有害性製品規則に基づく規則および規定、2015年2月11日

蒸発速度	: データなし
融点	: 248 °C (478.4 °F)
凝固点	: データなし
沸点	: 265 °C (509 °F) 分解する
発火点	: 該当せず
自動引火温度	: 該当せず
分解温度	: データなし
可燃性 (固体、気体)	: 該当せず
引火下限界	: データなし
引火上限界	: データなし
蒸気圧力	: 0 mm Hg 蒸気を生成しない
20°C での相対蒸気密度	: データなし
相対密度	: データなし
比重	: 2.49 g/cm ³
可溶性	: 可溶。 水。96 ~ 100 g/100ml @ 20°C (68 °F)
分配係数: N-オクタノール/水	: Log Pow -7.18 (推定値)
粘度	: 該当せず

第10章: 安定性と反応性

反応性: 酸化性物質: 可燃物の燃焼速度を増加させる。

化学的安定性: 火災または爆発のおそれ。強酸化性物質。

危険な反応の可能性: 危険な重合は発生しない。

避けるべき状況: 極度の高温あるいは低温、発火源、可燃物、混触危険物質。

混触危険物質: 強酸。還元性物質。有機物。引火性物質または可燃性物質と混合すると容易に発火したり爆発したりするおそれがあり、衝撃、熱、または摩擦によって誘発されやすい。乾燥した塩素酸ナトリウムを布、紙、革、油、グリース、ペンキ、溶媒などと混合すると、熱や摩擦で発火しやすくなる。可燃物、硫酸、還元性物質と激しく反応する。アンモニア塩、チオ硫酸アンモニウム、硫化アンチモン、ヒ素、炭素、木炭、有機物、有機酸、チオシアン酸塩、化学的に活性な金属、油、金属硫化物、ニトロベンゼン、金属粉末、または砂糖と接触すると爆発するおそれがある。多くの有機物と反応して、衝撃によって爆発する危険性のある混合物を生成する。

危険な分解生成物: 通常の使用条件においては発生しない。265°C で分解して水と塩になる。酸と反応して、塩素、二酸化塩素、過塩素酸を生成する。

第11章: 毒物学的情報

毒物学的影響についての情報 - 製品

急性毒性 (経口): 経口: 飲み込むと有害。

急性毒性 (経皮): 区分外

急性毒性 (吸引): 区分外

LD50 および LC50 データ:

塩素酸ナトリウムの結晶 (7775-09-9)	
ATE (経口)	1,204.82 mg/kg 体重

皮膚の腐食・炎症: 区分外

pH: 7~9 (水溶液は中性)。pH が下がるにつれ酸化活性が増大する。

目の障害・炎症: 区分外

pH: 7~9 (水溶液は中性)。pH が下がるにつれ酸化活性が増大する。

呼吸器系または皮膚の鋭敏化: 区分外

生殖細胞変異原性: 区分外

発がん性: 区分外

特定標的臓器毒性 (反復曝露): 区分外

塩素酸ナトリウム

安全データシート

米国連邦官報/77巻58号/2012年3月26日(月)/カナダ危険有害製品規則に基づく規則および規定、2015年2月11日

生殖毒性： 区分外

特定標的臓器毒性（単回曝露）： 区分外

吸引性呼吸器有害性： 区分外

吸引後の症状・影響： 長時間の曝露は炎症の原因となるおそれがある。吸引または摂取後数時間以内にチアノーゼが見られる場合がある。

皮膚の接触後の症状・影響： 長時間の接触は皮膚炎症の原因となるおそれがある。症状には、皮膚の赤み、乾燥、皮膚脱脂、ひび割れなどがある。

目へ接触後の症状・影響： 目にわずかな炎症をもたらすおそれがある。

摂取後の症状・影響： 口からの摂取は、悪影響をもたらすおそれがある。過剰曝露は、溶血毒性および腎毒性の原因となるおそれがある。大量の摂取は、腹痛、吐き気、下痢（暗赤色の血を伴うことがある）、チアノーゼを起こすおそれがあり、さらには頭痛、呼吸困難、眩暈、てんかん、昏睡などに悪化する場合がある。症状には、赤みや浮腫が含まれる場合がある。

慢性症状： 通常の使用条件においては発生しない。この物質に対する過剰な曝露は、メトヘモグロビン血症の原因となるおそれがある。

毒物学的影響に関する情報 - 成分

LD50 および LC50 データ

塩素酸ナトリウム (7775-09-9)	
LD50 経口、ラット	1200 mg/kg
LD50 経皮、ラビット	> 2000 mg/kg
LC50 吸引、ラット	> 5.59 mg/l (曝露時間：4.5 時間)

塩素酸ナトリウム (7775-09-9)	
米国国家毒性プログラム (National Toxicology Program, NTP) の評価	発がん活性のエビデンスがいくつかある。

第12章：環境影響情報

毒性

環境影響 - 一般：長期継続的影響により水生生物に毒性。

塩素酸ナトリウム (7775-09-9)	
LC50 魚 1	13500 mg/l (曝露時間：96 時間 - 種：Pimephales promelas)
LC50 魚 2	1750 mg/l (曝露時間：96 時間 - 種：Oncorhynchus mykiss)

持続性と分解性

塩素酸ナトリウムの結晶 (7775-09-9)	
持続性と分解性	環境に長期的に悪影響を与えるおそれがある。

生体蓄積性

塩素酸ナトリウムの結晶 (7775-09-9)	
生体蓄積性	未確立。

土壌内での移動性： データなし

その他の悪影響

その他の情報： 環境への漏出を避けること。

第13章：廃棄上の注意

廃棄上の推奨事項： 内容物・容器を、国際的な、および国、州、準州、地域、地区の規則に従って廃棄すること。本製品、溶液、およびあらゆる副産物の廃棄は、環境保護と廃棄物処理に関する法律の要件と、該当するあらゆる地方自治体の要件に従うものとする。余剰分と再利用不可能な製品は、認可を受けた廃棄物処理業者を通して廃棄すること。廃棄物は、所轄当局の要件に完全に準拠しない限り、未処理の状態で下水に流してはならない。再利用が可能でない場合に限り、焼却または埋め立て処理を検討する。本製品とその容器は安全な手段で廃棄すること。洗浄していない空の容器の扱いは慎重に行う必要がある。空の容器やライナー（内袋）には製品の残留物が残っている可能性がある。こぼれた製品の拡散、土壌、水路、排水、下水への流出や接触を防止する。

追加情報： 容器は空になっても依然として有害である可能性がある。引き続き注意事項を守ること。

塩素酸ナトリウム

安全データシート

米国連邦官報/77巻58号/2012年3月26日(月)/カナダ危険有害製品規則に基づく規則および規定、2015年2月11日

環境保護 - 廃棄物: 環境への漏出を避ける。本物質は水生環境にとって有害である。下水や水路に近付けないこと。





第14章: 輸送上の注意

ここに記述する発送に関する事項は、SDSが作成された時点における特定の仮定に沿って作成されており、SDSが発行された時点において既知であったものも未知であったものも含めた多くの可変要因によって変わる場合がある。

* US DOT 49 CFR part 171.4(c) および他の適切な条項に従って発送する際、本物質は道路または鉄道で輸送する場合において海洋汚染物質の指定を受けない。

** カナダ危険物輸送規則 (Canada Transport of Dangerous Goods Regulations) part 1.45.1 およびその他の適切な条項に従って発送する際、本物質は道路または鉄道で輸送する場合において海洋汚染物質の指定を受けない。

使用者向けの特別の注意: 使用者の敷地内での輸送: 必ず、しっかりと蓋をした容器に入れまっすぐ立てた状態で運ぶこと。製品を運搬する者が、事故やこぼれた場合の対応を把握しているよう万全を期す。

輸送区分	DOT	TDG	IMDG	IATA
識別番号	UN1495	UN1495	UN1495	UN1495
正式品名	塩素酸ナトリウム	塩素酸ナトリウム	塩素酸ナトリウム	塩素酸ナトリウム
輸送上の危険物クラス	5.1	5.1	5.1	5.1
				
包装等級	II	II	II	II
環境危険有害性	海洋汚染物質: あり*	海洋汚染物質: あり**	海洋汚染物質: あり	海洋汚染物質: 該当せず
緊急時応答	ERG 番号: 140	ERAP インデックス: 該当せず	EMS: F-H, S-Q	ERG コード (IATA): 5L
追加情報	該当せず	該当せず	該当せず	該当せず

第15章: 適用法令

米国連邦規則

化学名 (CAS No.)	CERCLA RQ	EPCRA 304 RQ	SARA 302 TPQ	SARA 313
塩素酸ナトリウム (7775-09-9)	該当せず	該当せず	該当せず	なし

SARA 311/312

塩素酸ナトリウムの結晶 (7775-09-9)
火災の危険。即時 (急性) の健康有害性

US TSCA フラグ なし

米国州規則

カリフォルニア州法プロポジション 65 (California Proposition 65)

化学名 (CAS No.)	発がん性	発生毒性	女性生殖毒性	男性生殖毒性
塩素酸ナトリウム (7775-09-9)	なし	なし	なし	なし

各州の知る権利法一覧 (Right-To-Know Lists)

塩素酸ナトリウム (7775-09-9)

塩素酸ナトリウム

安全データシート

米国連邦官報/77巻58号/2012年3月26日(月)/カナダ危険有害性製品規則に基づく規則および規定、2015年2月11日

米国 - マサチューセッツ州 - 知る権利法一覧 (Right To Know List) - あり
米国 - ニュージャージー州 - 知る権利法危険有害物一覧 (Right to Know Hazardous Substance List) - あり
米国 - ペンシルバニア州 - 知る権利法環境危険有害物一覧 (Right to Know - Environmental Hazard List) - なし
米国 - ペンシルバニア州 - 知る権利法特別危険有害物 (Right to Know - Special Hazardous Substances) - なし
米国 - ペンシルバニア州 - 知る権利法一覧 (Right to Know List) - あり

カナダの規則

塩素酸ナトリウム (7775-09-9)

カナダ国内物質リスト (Domestic Substances List, DSL) に掲載されている
カナダ非国内物質リスト (Non-Domestic Substances List, NDSL) には掲載されていない

国際在庫/一覧

化学名 (CAS No.)	オーストラリア AICS	トルコ CICR	韓国 ECL	EU EINECS	EU ELINCS	EU SVHC	EU NLP	メキシコ INSQ
塩素酸ナトリウム (7775-09-9)	あり	あり	あり	あり	なし	なし	なし	あり
化学名 (CAS No.)	中国 IECSC	日本 ENCS	日本 ISHL	日本 PDSCCL	日本 PRTR	フィリピン PICCS	ニュージージーランド NZIOC	米国 TSCA
塩素酸ナトリウム (7775-09-9)	あり	あり	なし	あり	なし	あり	あり	あり

第 16 章： その他の情報： 作成日または最終改訂日

作成日または最終改訂日 : 11/27/2017

改訂概要

章	変更	変更日
2	注意事項の修正	11/27/2017
4	語句の修正	11/27/2017
5	語句の修正	11/27/2017
6	語句の修正	11/27/2017
7	語句の修正	11/27/2017
8	語句の修正	11/27/2017
10	語句の修正	11/27/2017
11	日付の修正	11/27/2017
13	語句の修正	11/27/2017
15	語句の修正	11/27/2017
16	日付の修正	11/27/2017

その他の情報

: 本文書は、米国 OSHA 危険有害性周知基準 (Hazard Communication Standard) 29 CFR 1910.1200、およびカナダの危険有害性製品法 (Hazardous Products Regulations, HPR) の SDS 要件に従って作成されています。

GHS テキスト全文:

Acute Tox.4 (Oral)	急性毒性 (経口) カテゴリー4
Aquatic Chronic 2	水生環境に有害。慢性的有害性カテゴリー2
Ox.Sol.1	酸化性固体カテゴリー1

塩素酸ナトリウム

安全データシート

米国連邦官報/77巻58号/2012年3月26日(月)/カナダ危険有害性製品規則に基づく規則および規定、2015年2月11日

H271	火災または爆発のおそれ。強酸化性物質
H302	飲み込むと有害
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

NFPA 704

NFPA 健康有害性 : 1
NFPA 火災の危険 : 0
NFPA 反応性の危険 : 3
NFPA 特殊な危険 : OX - 酸化性を持つ物質。

HMIS 評価

健康 : 1
発火性 : 0
物理的 : 3
PPE 第8章を参照のこと。

略語および頭字語

AICS - Australian Inventory of Chemical Substances (オーストラリア既存化学物質)
ACGIH - American Conference of Governmental Industrial Hygienists (アメリカ産業衛生専門家会議)
AIHA - American Industrial Hygiene Association (アメリカ産業衛生協会)
ATE - Acute Toxicity Estimate (急性毒性推定値)
BCF - Bioconcentration factor (生物濃縮係数)
BEI - Biological Exposure Indices (BEI) (生物学的暴露指標)
CAS No. - Chemical Abstracts Service number (CAS登録番号)
CERCLA RQ - Comprehensive Environmental Response, Compensation, and Liability Act - Reportable Quantity (包括的環境対処・補償・責任法 - 報告を要する数量)
CICR - Turkish Inventory and Control of Chemicals (トルコ化学物質のインベントリと管理)
DOT 物質の保管と管理) Inventory and Control of Chemicals Compensation, and Liability Act - Re-Transportation. (米国運輸省連邦規則集第49巻 - 運輸)

EC50 - Median effective concentration (半有効濃度)
ECL - Korea Existing Chemicals List (韓国既存化学物質リスト)
EINECS - European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances (欧州既存商業化学物質リスト)
ELINCS - European List of Notified Chemical Substances (欧州届出化学物質リスト)
EmS - IMDG Emergency Schedule Fire & Spillage
ENCS - Japanese Existing and New Chemical Substances Inventory (日本既存化学物質および新規化学物質のリスト)
EPA - Environmental Protection Agency (環境保護庁)
EPCRA 304 RQ Protection Agency Chemical Substances Inventory
ExPlaning and Community Right-to-Know-Act - Reportable Quantity (極めて危険有害な物質 - 緊急計画及び地域の知る権利に関する法律 - 報告を要する数量)
ERAP Index - Emergency Response Assistance Plan Quantity Limit
Erc50 - EC50 in Terms of Reduction Growth Rate EC50を成長率の削減で定義)
ERG code (IATA) - Emergency Response Drill Code as found in the International Civil Aviation Organization (ICAO) (国際民間航空機関の緊急対応訓練コー

LC50 - Median Lethal Concentration (半数致死濃度)
LD50 - Median Lethal Dose (半数致死量)
LOAEL - Lowest Observed Adverse Effect Level (最小毒性量)
LOEC - Lowest-observed-effect Concentration (最小影響濃度)
Log Pow - Octanol/water Partition Coefficient (オクタノール/水分配係数)
NFPA 704 - National Fire Protection Association - Standard System for the Identification of the Hazards of Materials for Emergency Response (全国防火協会 緊急対応時に物質の危険性を同定するための標準システム)
NIOSH - National Institute for Occupational Safety and Health (国立労働安全衛生研究所)
NLP - Europe No Longer Polymers List
NOAEL - No-Observed Adverse Effect Level (最大無毒性量)
NOEC - No-Observed Effect Concentration (最大無毒性濃度)
NZIOC - New Zealand Inventory of Chemicals (ニュージーランド化学物質台帳)
OEL - Occupational Exposure Limits (許容曝露限界)
OSHA - Occupational Safety and Health Administration (職業安全衛生局)
PEL - Permissible Exposure Limits (許容曝露限界)
PICCS - Philippine Inventory of Chemicals and Chemical Substances (フィリピン化学品および化学物質インベントリ)
PDSCL - Japan Poisonous and Deleterious Substances Control Law (毒物及び劇物取締法)
PPE - Personal Protective Equipment (個人用防護具)
PRTR - Japan Pollutant Release and Transfer Register (化学物質排出移動量届出制度)
REL - Recommended Exposure Limit (推奨曝露限界値)
SADT - Self Accelerating Decomposition Temperature (自己加速分解温度)
SARA - Superfund Amendments and Reauthorization Act (スーパーファンド修正・再授權法)
SARA 302 - Section 302, 40 CFR Part 355
SARA 311/312 - Sections 311 and 312, 40 CFR Part 370 Hazard Categories (危険有害カテゴリー)
SARA 313 - Section 313, 40 CFR Part 372
SRCL - Specifically Regulated Carcinogen List
STEL - Short Term Exposure Limit (短時間曝露限界)
SVHC - European Candidate List of Substance of Very High Concern (欧州高

塩素酸ナトリウム

安全データシート

米国連邦官報/77巻58号/2012年3月26日(月)/カナダ危険有害性製品規則に基づく規則および規定、2015年2月11日

ド)	懸念物質)
ERG No. - Emergency Response Guide Number (危険物・テロ災害初動対応ガイドブック番号)	TDG - Transport Canada Transport of Dangerous Goods Regulations (カナダ運輸省 危険物輸送規則)
HCCL - Hazard Communication Carcinogen List (危険有害性周知発がん性物質リスト)	TLM - Median Tolerance Limit (半数生存限界濃度)
HMIS - Hazardous Materials Information System (危険有害性物質情報システム)	TLV - Threshold Limit Value (作業環境許容濃度)
IARC - International Agency for Research on Cancer (国際がん研究機関)	TPQ - Threshold Planning Quantity (計画基準量)
IATA - International Air Transport Association - Dangerous Goods Regulations (国際航空運送協会 危険物品規則)	TSCA - United States Toxic Substances Control Act (米国有害物質規制法)
IDLH - Immediately Dangerous to Life or Health (生命と健康に直接関わる危険)	TWA - Time Weighted Average (時間加重平均)
IECSC - Inventory of Existing Chemical Substances Produced or Imported in China (中国既存化学物質名録)	WEEL - Workplace Environmental Exposure Levels (作業場環境曝露限界濃度)
IMDG - International Maritime Dangerous Goods Code (国際海上危険物規程)	
INSQ - Mexican National Inventory of Chemical Substances (メキシコ国家化学物質インベントリ)	
ISHL - Japan Industrial Safety and Health Law (労働安全衛生法)	

製品は慎重に取り扱い、不必要な接触を避けて下さい。本情報は、米国 OSHA の「知る権利法」(“Right to Know”) (29 CFR 1910.1200)、およびカナダの WHMIS 規則のもとで提供されています。ここには特定の危険について記述してありますが、存在する危険がこれらのみであると当社は保証するものではありません。ここに含まれる情報は、当社が入手でき、真実かつ正確であると考えられるデータに基づいていますが、製品の仕様として提供されているものではありません。本データの正確性、本製品の使用にかかわる危険有害性、および本製品の使用から得られる結果に関しては、明示的、黙示的を問わず、いかなる保証もしておらず、Chemtrade およびその関連会社はいかなる責任も負いません。Chemtrade はカナダ化学工業協会 (CIAC, Chemistry Industry Association of Canada) の一員であり、レスポンシブルケア (Responsible Care™) の規範および原則を忠実に遵守します。



Responsible Care™